

公益財団法人食生活研究会 2024年度事業報告

(1) 公益目的事業

2024年度事業は、2024年3月4日第98回定時理事会で決議された研究助成、講演会、海外からの留学生支援及び我が国から海外への留学生支援を行った。

1) 研究助成事業

研究者に対する研究助成15件1,500万円、及び研究機関に対する補助2件100万円の合計17件(1,600万円)の助成を行った。その詳細は以下のとおり。

① 研究助成 15件

	氏名	機関名	研究テーマ
1	つつら さとみ 筒浦 さとみ	新潟大学農学部 准教授	なぜ黄色ブドウ球菌は圧力に強いのか ―適合溶質の取り込みの観点からの検討―
2	ながた かずき 長田 和樹	東京理科大学先進工学部生命システム工学科 助教	アレルギー経口免疫療法における短鎖脂肪酸摂取の有効性
3	まえかわ もとこ 前川 素子	東北大学大学院医学系研究科・器官解剖学分野 准教授	妊娠期の栄養欠乏による神経免疫細胞のエピジェネティック制御機構の解明
4	ますだ よしみつ 益田 時光	九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門 食料化学工学講座 助教	有機酸による食中毒細菌Persisterの制御
5	まの じゅんいち 真野 潤一	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 上級研究員	小麦とコウジカビでつくる新しい高タンパク質食素材の開発
6	やまもと かずたか 山本 和貴	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 グループ長補佐	澱粉損傷度が極限にまで低下した超微細米粉の実用化に向けた製粉技術の開発
7	いしかわ みつひこ 石川 光彦	一橋大学社会科学高等研究院 講師	子どもの偏食傾向と食べ物に対する非明示的な評価の関連：報酬処理に着目した食行動の認知メカニズムの検討

8	やました りょうへい 山下 良平	石川県立大学生物資源環境学 部 准教授	食農倫理的行動の潜在的効果：社 会の不安定期で期待される機能の 抽出と検証
9	きしもと あつお 岸本 充生	大阪大学 社会技術共創研究センター センター長	「リスクに基づくアプローチ (Risk based approach)」の分野 間比較
10	ささき つとむ 佐々木 努	京都大学大学院農学研究科 食品生物学専攻栄養化学分野 教授	生活習慣病の撲滅に向けた食行動 と栄養研究
11	しらとり さきこ 白鳥 佐紀子	国際農林水産業研究センター 情報広報室 主任研究員	世界の栄養・食糧安全保障と食料 需給における課題（人々の健康と 地球の持続可能性に貢献できるフ ードシステム構築に向けて）
12	せきや なおや 関谷 直也	東京大学大学院情報学環 総合防災情報センター 教授	東京電力福島第一原子力発電所事 故の社会的影響（農林水産物の風 評被害や災害時の社会心理学的側 面に焦点を当てた実証研究）
13	むらかみ けんたろう 村上 健太郎	東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻社会予防疫 学分野 教授	食を中心とした学際領域科学とし ての栄養疫学を発展させるための 基盤研究
14	ふじはら たつし 藤原 辰史	京都大学人文科学研究所 准教授	食の視点からの世界現代史叙述へ の挑戦—物質循環のなかの人間た ち
15	いいじま ようこ 飯島 陽子	工学院大学先進工学部応用化 学科 教授	食品の嗜好性を決める風味要因の フレーバーオミクスによる解明と 調理効果の検証

② その他研究補助 2件

No	氏名	機関名	研究テーマ
1	みうら ひろき 三浦 浩喜	福島大学 学長	農学の特色ある教育研究による福島 の復興と食農人材の養成
2	みぞぐち まさる 溝口 勝	東京大学大学院 農学生命科学 研究科 教授	持続可能な食料システムの実現への 貢献を目指す農学教育研究システ ムの再構築

2) 講演会開催事業

①「食と健康」講演会

第32回「食と健康」講演会は2024年9月18日(水)午後、クラブ関東大ホールにおいて「食と健康」を主テーマに開催した。

第一部で2024年度に研究助成を行った中から、京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻栄養化学分野の佐々木努教授が研究報告の発表を行い、第二部で、順天堂大学名誉教授同大学大学院医学研究科・文部科学省事業スポーツロジックセンターセンター長の河盛隆造氏が、「健康長寿をめざし、学童期から身体活動を増やし、正しい食生活をすべき！—Sportology Center の成果から—」について講演した。

なお、会場とオンラインの同時配信を行い、会場61名、オンライン99名、合計160名の参加者となり、盛況の内に終了した。

②フードコミュニケーション講演会

「フードコミュニケーション講演会」を2回開催した。

講演会の内容は以下のとおり。

第10回

日時 : 2024年6月14日(金) 午前10:45~12:00

講師 : 井出 和希 氏 大阪大学 感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門
/ 社会技術共創研究センター (ELSI センター) 実践研究部門 特任准教授

場所 : 会場 (KKRホテル東京)、オンライン配信実施

テーマ: 学術的な情報の流通とフードコミュニケーション

第11回

日時 : 2024年11月20日(水) 午前10:45~12:00

講師 : 菊池 聡 氏 信州大学人文学部文化情報論分野 教授

場所 : 会場 (KKRホテル東京)、オンライン配信実施

テーマ: 私たちはなぜニセの科学に惑わされてしまうのか

—食生活の安全を守るクリティカル・シンキング入門—

3) 海外からの留学生支援事業

2024年度は以下の7名に奨学金を支給した。

バルトルジ ノミンさん (東京農工大学農学部在籍、出身国: モンゴル)

エフェンディ オウラン グスタフハキム ナタ ブアナさん

(京都大学大学院農学研究科在籍、出身国: インドネシア)

チョクビレン ジハンさん (東京外国語大学国際日本学部在籍、出身国: フランス)

グウェン タン アン ニィさん (東京大学大学院在籍、出身国: ベトナム)

ロドリゲス カトリナ カナスさん (早稲田大学社会科学部在籍、出身国: フィリピン)

ウィルソン エマ ケイさん（筑波大学生命環境学群在籍、出身国：オーストラリア）
ナットナリー チョンプーさん（上智大学言語教育研究センター在籍、出身国：タイ）

奨学生は下記の行事に参加し、日本の食生活等に関して知見を深めた。

- ・当財団主催第32回講演会（参加留学生による挨拶実施）（2024年9月18日）
- ・日清製粉グループ「製粉ミュージアム」見学会（2024年12月26日）
- ・OB、OGオンライン同窓会（2025年3月15日）

4) 我が国から海外への留学生支援事業

事業開始から2年目となる2024年度は、初年度開始の2名（石川凜氏、高橋天洋氏）に加えて、以下の3名に対して奨学金の支給を開始した。

- ① 生子 花 東京科学大学大学院土木工学コース在籍
留学先 パリ工科大学 2年間
- ② 能勢 一路 東京大学教養学部教養学科卒
留学先 ユニバーシティ カレッジ ロンドン 1年間
- ③ 北村 侑里 早稲田大学政治経済学部政治学科卒
留学先 ロンドン スクール オブ エコノミクス 1年間

奨学金は4か月ごとに5千米ドル（年額15千米ドル）を本人指定の預金口座に送金している。

(2) その他

人道支援・災害復興支援

不特定多数の利益に貢献することができる以下の寄付を行った。

- (1) 寄付先 : 社会福祉法人 石川県共同募金会
指定用途 : 令和6年能登豪雨災害義援金
寄付額 : 300,000円
実施日 : 2025年3月27日

- (2) 寄付先 : 福島県
指定用途 : 東日本大震災ふくしまこども寄付金
寄付額 : 300,000円
実施日 : 2025年3月27日

(3) 寄付先 : 特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
指定用途 : 「緊急チーム」 募金
寄付額 : 300,000円
実施日 : 2025年3月27日

事業報告附属明細書

2024年度事業報告には「一般社団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。